

令和5年度 第3回十和田市外部評価委員会(会議録)

日 時:令和5年 10月4日(水)午後1時30分～午後2時30分

場 所:十和田市役所 本館3階 庁議室

出席者:十和田市外部評価委員会委員 13名

岡野委員長、升澤委員、山端委員、斗澤委員、櫻田委員、石村(明)委員

石村(彰)委員、柴崎委員、原委員、館花委員、上野委員、平館委員、中沢委員

【①インバウンド対策】

委員長	・特に意見なしのため、事業評価集計表の内容を本委員会の評価結果とします。
★最終評価	・「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として終了

【②地域子ども・子育て支援】

委員	・子どもに係る取組について、庁内で連携しているのか説明をお願いします。
担当課	・こども支援課では手当関係や事務的手続き、健康増進課では相談対応などを所管しています。 ・2課で関連する部分については、お互い情報を共有しながら、業務が滞ることないように努めています。
委員	・内部評価の改善内容に病児保育事業という1事業を掲げているが、末端の事業を改善内容とするのではなく、例えば、子供家庭センターの設置など、大きなものを掲げた上で子育て支援に取り組んでいくという表現ができないでしょうか。
委員長	・改善内容を広く考えていただけないかというご提案かと思います。 ・その他の提言等のところに、病児保育事業以外にも検討すべきとの提言があったと入れていただければと思います。
★最終評価	・「事業評価集計表」に提言を追加することとし、委員会としての事業評価を終了

【③中央病院の医師確保】

委員	・関連大学、県に働きかけるとのことだが、どのように取り組むのか、中央病院には何名の医師が必要なのか、どのような形で連れてくるのか、弘前大学や岩手大学だけでいいのかなど、今後の取組を聞かせていただきたい。
----	---

担当課	<ul style="list-style-type: none"> ・関連大学とは、各診療科の繋がりを強めながら医師の充足に努めています。 ・県に対しては、地域構想に沿った医師の確保をお願いするとともに、連携して関連大学に働きかけるなど、お互い支え合いながら医師の確保に努めたいと思っております。 ・医師の数に関しては、だいぶ改善はしていますが、まだ少し不足しています。 ・医師1名の診療科もありますので、医師の確保を目指し、引き続き関連大学、県と関係を強めるというスタンスで取り組んでいます。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27・28年と比較すると、医師が10名ほど増えており、寄附講座の開設により追加の医師も確保されています。 ・初期研修医もある程度確保しつつ、次の段階で定着してもらえよう様々な取組をしていると思います。
★最終評価	・「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として終了

【④空き家の利活用促進】	
委員長	・特に意見なしのため、事業評価集計表の内容を本委員会の評価結果とします。
★最終評価	・「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として終了

【⑤デジタル化推進事業】	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、生産性の向上に対する有効性を創造しやすい対策というのが、唯一デジタル化ではないでしょうか。 ・デジタル化により、人が行っていることが移管されていくということがかなり効果的に機能していくことを期待しています。 ・高齢者へのデジタルデバインド対策の面では、デジタル化した方が得だと思われるような取組があると良いです。 ・人口減少が進むスピードは速いので、デジタル化もよりスピード感をもって進めていただきたいです。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化はとにかく待ったなしであり、加速度的に進めていかないと取り残される可能性もあります。 ・人手不足を効率化でカバーできる部分もあるので、多くの方がさらに重点化を図ってほしいという評価になっていると思います。
★最終評価	・「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として終了